

## 仕様

測定方式	電磁誘導式
測定範囲	上段0～500 $\mu$ m 下段0～20mil
精度	5%
プローブ	一点定圧接触式 17 $\phi$ ×65mm Vカット付 最小測定面積17 $\phi$
本体	鉄製 115×73×72mm 電池、プローブ共0.8kg
電源	乾電池単三4本 6V
付属品	標準厚板 200 $\mu$ m 1枚 携帯用バック

## 営業品目

膜厚計、ピンホール探知器  
結露計、粘度計、水分計  
検針器、鉄片探知器

## 株式会社 サンコウ電子研究所

東京営業所 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-4 築田ビル2階  
TEL(03)3254-5031 FAX(03)3254-5038  
大阪営業所 〒530-0046 大阪市北区菅原町2-3 小西ビル  
TEL(06)6362-7806 FAX(06)6365-7381  
名古屋営業所 〒462-0847 名古屋市北区金城3-11-27 名北ビル  
TEL(052)915-2650 FAX(052)915-7238  
福岡営業所 〒812-0023 福岡市博多区赤倉屋町11-11  
TEL(092)282-6801 FAX(092)282-6803  
本社 〒213-0026 川崎市高津区久末1-6-7  
TEL(044)751-7121 FAX(044)755-8212

(02.5)

# SANKO

## サンコウ電磁式膜厚計

### SM-4C取扱説明書

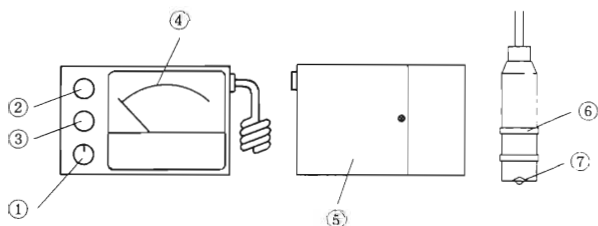


### ⚠ 注意

- 取扱説明書をよく読み、正しく使用して下さい。
- 本書は、大切に保存し、常に参照して下さい。

株式会社 サンコウ電子研究所

## 各 部 名 称



- ①電源切換スイッチ  
(OFF, ON, BAT)
- ②ゼロ(ZERO)  
調整ツマミ
- ③標準(STD)  
調整ツマミ
- ④メーター
- ⑤電池室
- ⑥プローブ
- ⑦磁 極

### ◎ 適用範囲 鉄素地上の非鉄金属膜、絶縁性皮膜の測定

### ◎ 使用法

#### 1. 準備

- (1) 本体の電源切換スイッチ①をONに入れます。メーター④の指針が振れますから、そのまま2～3分放置し、回路の安定をまって次の調整に移ります。
- (2) ゼロ板の用意

測定物と同質の鉄素地をゼロ板とよびます。このゼロ板は測定物の鉄素地と同種のもので錆がなく清らかなものが良く、厚さも大体同じものを予め御用意下さい。又プローブ接触面の形状も同一形状のものが良く、その為測定面が曲面、その他複雑な形状のものについては、メッキ又は塗装前のものをゼロ板用として、予め御準備下さい。次の調整はこのゼロ板を基準に行います。

#### 2. 調整

##### (1) ゼロ(ZERO)調整

ゼロ板にプローブ⑥を軽く押当てながら、ゼロ(ZERO)調整ツマミ②を静かに廻して、メータ指針を目盛左端のゼロの線に合せます。

##### (2) 標準(STD)調整

次に同じゼロ板の上に付属の200 $\mu$ mの標準厚板をのせ、その上からプローブ⑥を押当てながら、標準(STD)調整ツマミ③を廻して、メータ指針を目盛の200 $\mu$ mの線に合せます。

##### (3) 上記の(1)、(2)の操作を二、三度繰返して正しく合せます。

#### 3. 測定

プローブ⑥を測定物に押当てるとメータの針が振れて、皮膜の厚さを示します。

#### 4. 終了

測定が終了したら電源切換スイッチ①を必ずOFFに戻して下さい。

電池が無駄に消耗します。

#### 5. 電池の交換

本体の電源切換スイッチ①をBATに切換えて下さい。

メータの針が赤線より右なら良、左なら不良です。本体底部電池室⑤をあけ電池を4本全部新品と交換して下さい。